



# Safe Crop Project News



No.12 2018年9月発行

「ベトナム北部地域における安全作物の信頼性向上プロジェクト（2016年～2021年）」は、北部地域2市11省において、「Basic GAP (Good Agricultural Practices)」を始めとする安全作物栽培の技術規範に沿った生産活動、消費者の安全野菜への信頼醸成、及び、多様なサプライチェーンの構築を支援することで、対象地域における安全作物栽培の振興を目指します。

## 対象グループの紹介

プロジェクト対象グループ紹介の第7回目は、Hai Duong 省の Duc Chinh 組合です。設立は2012年で、組合員は1,636 農家、農地面積が360ha の非常に大きな組合です。この会社の特徴を2点紹介します。

### 特徴1「冬は一面のニンジン畑」:



一面に広がるニンジン畑、河川沿いの総面積360haの畑は壮観です

Duc Chinh といえば「ニンジン」です。北部地域の農協は複数種類の野菜を生産するのが一般的ですが、Duc Chinh 組合では、冬になると360haの広大な面積すべてがニンジンで埋まります。組合の農地は Thai Binh 川に面した河川敷にあり、文字通り見渡す限りニンジン畑が広がる風景は圧巻です。ニンジンの生産量は年間14,000 トン以上におよび、国内だけでなく中東や中国など海外にも輸出されています。組合長の Nguyen Duc Thuat 氏によると、Duc Chinh では40年以上も前に日本の種苗メーカーがニンジン栽培を広め、今では有数の産地に育ったとのこと。栽培面では、30cmほどの畝立て、土壌水分保持のための稲わら、小まめな除草など、昔から変わらぬ農法で、丁寧な農業が行われています。

### 特徴2「安全生産のために VietGAP 取得」:

対象グループとして選定した2017年4月時点では、GAPの知識・経験がなく、記帳している農家はいませんでした。すでに海外市場にも出荷するなど十分な販路をもっていました。しかし昨今の農産物の安全性を懸念し、スーパーなどGAPに基づく野菜調達の動きもでてきたことから、JICAの支援を受けてGAPを学びたいという意向が寄せられました。プロジェクトにてBasicGAPに基づく土壌や水質の検査、記帳の指導、残留農薬検査などを支援した結果、プロジェクト開始から1年後にはVietGAP認証も取得することができました。

### 今後の課題:

Duc Chinh 組合員のうち、プロジェクトで支援できているのは270農家、生産面積30ha程度で、全組合員がGAPに基づいた栽培をしているわけではありません。組合としては段階的に農家数を増やし、安全野菜の生産面積を広げる意向をもっており、プロジェクトでも引き続き支援していきます。また、昨年は販路も十分でなかったため、生産された安全野菜の一部は安全野菜として共同出荷できず、一般野菜と同じ値段で売られました。販路を広げないことには生産面積も広げられないため、ハイズン省農業農村開発局と協力し、さらなる販路拡大に向けた活動を展開していきたいと考えています。



Duc Chinh 組合長の Nguyen Duc Thuat 氏、1,600名をかかえる組合の若きリーダーです

## HPA「安全作物ウェブサイト」設立ワークショップ nongsanantoanhanoi.gov.vn

8月27日に、ニューズレターNo.10で報告させていただいたハノイ・プロモーション・エージェンシー（以下 HPA）「安全作物ウェブサイト」の設立ワークショップが開催されました。

「店舗検索」、「生産者検索」、「認証関連情報の教育」の機能と内容を備えたウェブサイトです。ワークショップの参加者からは、「モダンなデザインと使いやすい機能への評価」や、「生産者と



ワークショップでスピーチを行う女性消費者クラブの代表、Nguyen Thi Quynh Chi 氏

バイヤーが取引先を探すためのツールとしての期待」が寄せられると共に、利用者の信頼を得て持続的にウェブサイト運営を行くためには、「掲載される情報の質と量の確保、情報アップデートの重要性」が強調されました。また、女性消費者クラブ代表の Nguyen Thi Quynh Chi 氏からは、「消費者としてウェブサイトから恩恵を受けるだけでなく、掲載される情報のモニタリングを行っていく義務がある」ことが述べられました。

プロジェクトでは、HPA「安全作物ウェブサイト」開設に際し、掲載内容と消費者の視点に立ったデザイン・基本機能に関する提言を行いました。今後の情報アップデートとウェブサイトの維持管理は HPA が担っていきますが、これには、実際に多くの人々がウェブサイトを訪れ、機能の活用とフィードバックを行っていくことが重要となります。プロジェクトでは、ウェブサイトの活性化に向け、今後のコミュニケーションツールやマッチングイベントで引き続きウェブサイトの紹介を行っていきます。

## 2018 年度 JICA 教師海外研修 Yen Phu 農協訪問

8 月 10 日に JICA 教師海外研修プログラムの一環で、10 名の教職員の方々が Yen Phu 農協を訪問しました。研修により開発課題等について理解を深めた参加者が、授業実践等を通じて主体的に課題を考え、解決に向けた取り組みに参加する力をもつ児童・生徒を育成することを目的とする研修です。

参加された教職員の方々からは、気候変動の営農への影響の有無、農薬包材回収ボックス内のゴミの処理方法やプロジェクト参加前と比較した農家の収入変化等、生産現場の現状について多くの質問が挙がりました。最後に参加者より Yen Phu 農協代表の Nguyen Huu Hung 代表に、「安全野菜の生産活動に取り組むことをどのように考えているか？」と質問が挙がると、Hung 代表より、「安全野菜を市場の消費者に提供できること、また活動を通じて農家の生計向上に貢献できることに意義を感じている。」と力強い回答がありました。

安全野菜の持続的な発展には、出荷量の増加や栽培野菜の多様化に合わせた生産管理体制の強化が要となります。プロジェクト

ではこれから本格化する冬作において、安全野菜栽培振興に向けた活動支援を引き続き行っていきます。



研修参加者に新品種と従来品の苦瓜の違いについて説明する Yen Phu 農協 Hung 代表

## JICA プロジェクトチームの紹介

2018 年 8 月からチーフアドバイザーを拝命しました山本です。これまで、日本国内やアフリカ、アジア、大洋州での開発事業に 20 年ほど携わり、ベトナムでは 2010 年から農業開発の仕事に関わってきました。目まぐるしく発展するベトナム社会の中で、農業の位置付けが変遷し、経済発展上の重要性が高まっていることを実感しています。

そのような中で、本プロジェクトでは、ベトナムで「日々」「大量」に消費される「野菜」を対象に、安全性の向上、サプライチェーンの構築を図っています。日々大量に消費される「安い」野菜に安全性だけで高付加価値をつけることは簡単ではありません。そのため、流通業者や小売店、消費者の方々にもご関心を持っていただき、安さよりも安全性の高い野菜を買うことを常態化し、需要を伸ばすことが、生産者が安全作物栽培を継続するインセンティブになるのではないかと考えています。

農業国といわれるベトナムが、今後さらにそのポテンシャルを

伸ばすためには、農産物の安全性の確保は最低限必要なことだろうと思えますし、ベトナムの人々やベトナム在住の外国人の食生活にも影響することですので、良い成果を出せるよう頑張りたいと思います。



プロジェクトダイレクター Tran Xuan Dinh 副局長 (左) の執務室にて

皆様のご意見・ご感想をお待ちしております

JICA プロジェクト事務所

Room 201, Department of Crop Production, Ministry of Agriculture and Rural Development,  
2 Ngoc Ha Str., Ba Dinh Dist., Hanoi, Vietnam

Tel/Fax : +84 24 3244 4373, Email: safecropproject@gmail.com